

B-1: 研究経営・戦略・IR

開催日時・会場 9月3日(火曜日) 10:30-12:00 B102(1階)

URAによる研究力分析業務高度化に向けて

本セッションでは、URAによる研究力分析活動に資する、大学・研究機関における研究力分析の具体的な事例共有を行います。

URAによる研究支援・研究推進業務において、その戦略的遂行には研究力分析が不可欠のものとなっています。これまでRA協議会年次大会において、研究力分析、研究力評価における指標等の概念や仕組みについての議論が各所で行われてきました。本セッションではそれらの議論を背景として、研究力分析における概念の議論のみならず、より具体的な取り組みとしてプログラミングの活用や個別具体の技術的内容にも踏み込んだ事例の紹介を行うことで、URAによる研究力分析を効率的・効果的にする取り組みの共有を図ります。

セッションでは研究力分析について2つの事例について講演を行います。1つめは一意の研究者IDとして国際的に普及しているORCID IDを活用した研究力分析の事例を紹介します。2つめは理工系に比べると文献データベースが十分ではないため、分析に困難さがある人文学系の分析事例として「人文系サイエスマップ」を紹介いたします。両事例紹介においては、分析結果のみならず、具体的な分析手法についても触れて紹介することを予定しております。

2つの事例紹介に加えて、業務にプログラミングを活用することに関心のあるURAの有志の集まりであるCode for Research Administrationの取り組みを紹介いたします。

実際の分析作業を担当している方、具体的な分析手法に興味のある方の参加を歓迎いたします。

オーガナイザー／講演者

矢吹 命大: 横浜国立大学 研究推進機構

特任教員(准教授)／リサーチ・アドミニストレーター



筑波大学大学院人文社会科学研究科国際政治経済学専攻単位取得退学。修士(国際政治経済学)。2012年4月より筑波大学大学院人文社会系特任研究員として巨大科学を巡る国際関係の研究に従事。2014年4月横浜国立大学特任教員(講師)・URA。2017年7月より現職。専門は国際関係論。URAとしては科学技術政策動向調査、研究IR、競争的資金獲得支援、サイエンスカフェ支援、競争的資金DB開発などを担当。

講演者

森 雅生: 東京工業大学 情報活用IR室 教授



九州大学総合理工学研究科単位取得後退学。博士(情報科学)。2006年より九州大学大学評価情報室にて、大学評価業務に従事しつつ、それを支える情報学の研究に従事。2015年より東京工業大学情報活用IR室にてIR先任教授となり、今日に至る。現在は、日本におけるIR人材の育成、およびIR組織のマネジメントの実務と研究を行う。国際会議AAI-DSIR常任委員、大学情報・機関調査研究会元運営幹事、ORCID日本コンソーシアム運営委員長。

後藤 真: 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 研究部 准教授



人間文化研究機構本部を経て現職。博士(文学)。人文学の資料や研究をデジタル化し、分析する人文情報学を専門とする。近年は歴史資料を中心とする大学の人文資料情報ネットワークを構築する「総合資料学」の事業に従事するとともに、人文学の研究評価手法の検討を行っている。近著に「研究の量的評価は人文学に対して可能なのか?—人間文化研究機構の試み—」(『学術の動向』2018年10月号)などがある。